



コンセールによるゴルトベルク変奏曲

本村睦幸
リコーダー

ジュゴンボーイズ
山本徹 チェロ
根本卓也 チェンバロ



2023年12月20日[水]

Space 415

中野区新井2-48-12
<http://space415.info/>

JR中央線／東京メトロ東西線
中野駅北口より徒歩12分

野方警察署近く、区立野方児童館の隣
「芦野」の表札がある入口に入ってすぐ右の建物の2階

休憩なし約1時間

同プログラム3回公演

昼 13:30 開演 (13:00 開場)

夕 16:00 開演 (15:00 開場)

夜 19:40 開演 (18:00 開場)

各回20席限定・要予約 ¥3,500

■ご予約・お問い合わせ

デ・ルストホフ: lusthof.concerts@gmail.com

あしの: 090-6045-9311

■ご予約フォーム

<https://forms.gle/twMgRjRhzieLiS5A>



中野の Space 415 で、休憩なし約 1 時間のプログラムを 1 日 3 公演行う「小さな室内楽」。40 席中 15 席限定で、お客様ひとりひとりと演奏者が挨拶を交わせる社交の場となるようなサロンコンサートです。今回はチェロの山本徹さんとチェンバロの根本卓也さんのユニット、ジュゴンボーイズとの共演で、バッハのゴルトベルク変奏曲を合奏（コンセール）で演奏します。ジュゴンボーイズとは CD 〈フランスバロック・ソナタの展翅〉で、クーランの「恋する小夜鳴鳥」をコンセールで演奏していますが、ゴルトベルク変奏曲の主題となるアリアもまたコンセールにうってつけの曲です。それをさらに拡げて、変奏も全てこの編成のコンセールで演奏したらどうなるのだろう!?!と試みることにしました。より色彩豊かに感じ取れるような演奏を目指します。さてさてお立ち会い!!です。どうぞお越しください。



予告

2024年2月14日(水) 小さな室内楽 第37回「ヴァレンタインサロン」 共演:土居瑞穂(チェンバロ)
 2024年3月28日(木) 小さな室内楽 第38回「宮廷の歌」 共演:櫻田亨(リュート)

本村睦幸 Mutsuyuki Motomura (リコーダー)

アムステルダム・スヴェーリンク音楽院卒。W.ファン・ハウエらに師事。アムステルダムを拠点とする十余年にわたる活動を経て、2001年に帰国。14世紀から現代作品に至る広いレパートリーを持ち、中でも、古楽器としてのリコーダーの演奏表現の探求に邁進し、特にバロック時代の和やかなサロンでの音楽の喜びを現代に活かすことをテーマに据えた活動を展開している。2019年には10年ぶりに開催した「東京リコーダー音楽祭」ではディレクターを務め、注目を集めた。また、多くのCDを次々にリリースし、各社の音楽配信サービスでも聴くことができる。(Mutsuyuki Motomuraで検索)。そのうち「テレマン:12の無伴奏ファンタジア」は、全音楽譜出版社より自身の編集版が発売されている他、「ナポリのリコーダーコンチェルト」は、コンサートのライブDVDも販売している。今年は、5月に「フランスバロック・ソナタの展翅」をリリースし、来年は「リコーダーによるオテテール作品集(仮題)」をリリース予定。http://mutsuyukimotomura.com

山本徹 Toru Yamamoto (チェロ)

東京藝術大学大学院古楽専攻、及びチューリヒ芸術大学修了。チェロを土肥敬、河野文昭、北本秀樹、鈴木秀美、ルール=ディールティーンズの各氏に師事。東京藝術大学バッハカンタータクラブにて小林道夫氏の指導のもと研鑽を積む。

バッハ・コレギウム・ジャパン、オーケストラ・リベラ・クラシカ等主要な国内のオリジナル楽器オーケストラのメンバー、オーケストラ・アヴァン=ギャルド理事・首席チェロ奏者、プロムジカ使節団首席チェロ奏者。また根本卓也氏とのユニット「ジュゴンボーイズ」、サクソ坂口大介氏・クラリネット菊池秀夫氏・作曲の星谷丈生氏との「アンサンブル・ニュークラシカ」などでも幅広く活躍している。

2008年第16回ライプツィヒ国際バッハ・コンクール第2位、2011年ブルージュ国際古楽コンクール審査員賞、及びオランダ・ファンヴァッセナール国際コンクール優勝。2010年度文化庁新進芸術家海外研修員、2011年度ロームミュージックファンデーション奨学生。シンガポール国立大学ヨシ・シュウトウ音楽院でのマスタークラスや東京藝術大学での集中講義「古楽器概論」講師、また2006年第2位受賞の国際古楽コンクール<山梨>では2017年に審査員を務める。https://scordatoru.wixsite.com/toru-yamamoto

根本卓也 Takuya Nemoto (チェンバロ)

東京藝術大学大学院修士課程(指揮専攻)修了。在学中にバッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)の鈴木雅明氏との出会いから古楽へと傾倒し、国立リヨン高等音楽院で、通奏低音のディプロマを取得。帰国後は「ジュゴンボーイズ」<レ・ゾルフェ><アンサンブル・ラ・レヴェランス>等のグループで、通奏低音奏者として活動。

作曲家としての顔も持ち、第3回東京かつしか作曲コンクール2015アンサンブルの部第3位入賞(1・2位無し)。2016年6月には、サクソ・歌とのトリオ《Nemo Concertato》で、谷川俊太郎の詩に寄せたCDブック『大人のための俊太郎』を上梓(アルテス音楽出版刊)。オペラ・カンタータ・歌曲等声楽作品を中心に、旺盛に発表を続ける。

現在、新国立劇場オペラ部門音楽スタッフとして年間を通して公演に寄与する傍ら、国内の主要団体で合唱指揮・ディクションコーチ・作品レクチャー等多岐にわたり活躍。業界の屋台骨として欠くべからざる存在となっている。http://nemototakuya.info/